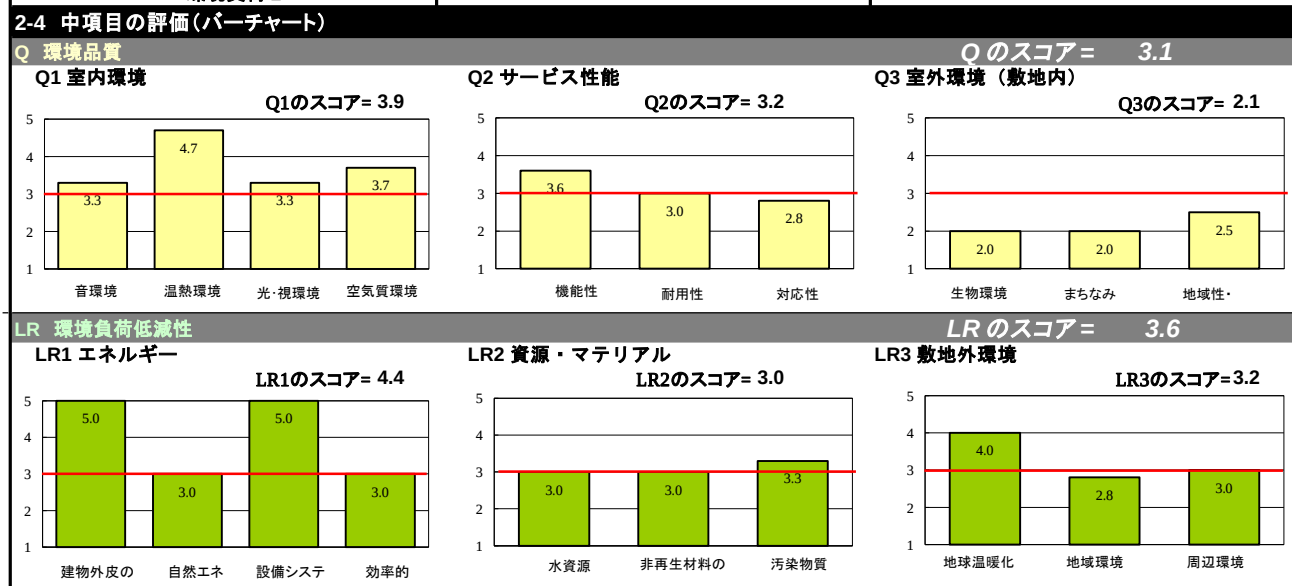
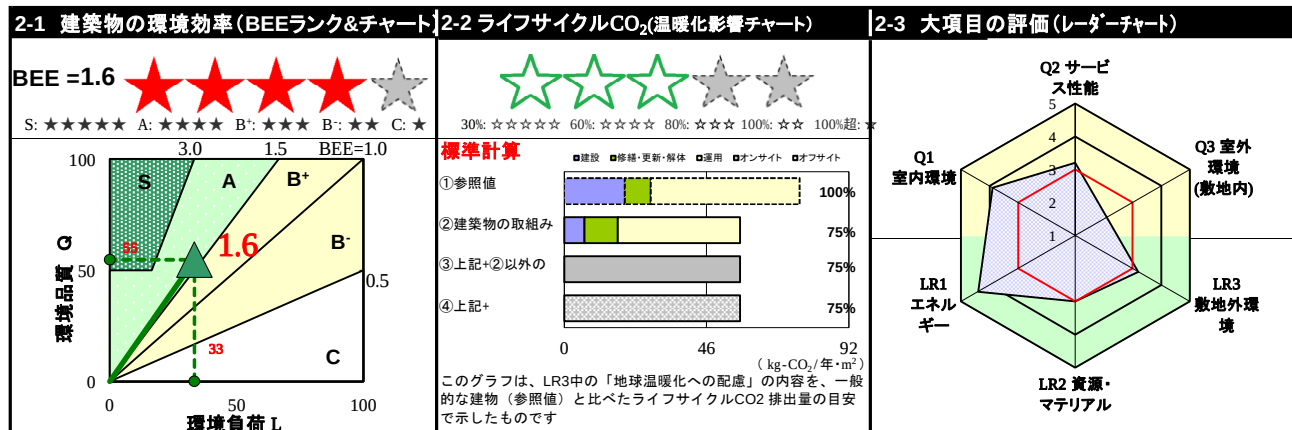


1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)高槻市明田町計画 新築工事	階数	地上15F、地下0F
建設地	大阪府高槻市明田町	構造	RC造
用途地域	第二種住居地域、準防火地域	平均居住人員	101 人
地域区分	6地域	年間使用時間	8,760 時間/年(想定値)
建物用途	集合住宅	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2027年1月 予定	評価の実施日	2025年1月10日
敷地面積	1,450 m ²	作成者	株式会社アクセス都市設計 進藤芳行
建築面積	340 m ²	確認日	2025年1月10日
延床面積	3,277 m ²	確認者	株式会社アクセス都市設計 進藤芳行



3 設計上の配慮事項		
総合	換気が十分にとれ、遮音性能が高い窓の使用や、断熱性能等級5相当の断熱施工により、室内環境の向上に配慮している。	その他 特に無し
Q1 室内環境	F☆☆☆☆の建材をほぼ全面的に使用し、空気質環境の向上に配慮している。	Q2 サービス性能 耐用年数が高い外壁材や配管の使用により、建物の耐用性に配慮している。
Q3 室外環境(敷地内)		敷地内に植栽を行っている。
LR1 エネルギー	標準より高い省エネルギー性能を確保している。	LR2 資源・マテリアル リサイクル材やノンフロン断熱材の使用により、資源の保護に配慮している。
LR3 敷地外環境		特に無し

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)

■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)

■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと

■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

【建物概要】 建物名称		(仮称) 高槻市明田町計画 新築工事						
建設地		大阪府高槻市明田町						
用途／区分		集合住宅						
【評価結果】	CASBEE 総合評価						A	
①	CO2削減						4	
②	みどり・ヒート アイランド対策						3	
③	断熱性能						5	
	建築物省エネ法に基づく 省エネ性能ラベル	住宅(住棟)又は 複合建築物の住宅部分					5	
④	エネルギー消費性能						5	
	建築物省エネ法に基づく 省エネ性能ラベル	住宅(住棟)又は 複合建築物の住宅部分					2	
		非住宅建築物又は 複合建築物の非住宅部分	評価対象外				評価対象外	
⑤	自然エネルギー直接利用						○	
	再生可能エネルギー	太陽光発電	○	風力	—	地熱	—	—
	利用施設の導入状況	太陽熱利用	—	水力	—	バイオマス	—	—

エネルギー消費量の報告						対象外	
-------------	--	--	--	--	--	-----	--

【評価項目】			
項目	評価内容	スコア	評価
① CO2削減	CASBEE LR3 敷地外環境 1. 地球温暖化への配慮	4.0	4
② みどり・ヒートアイランド対策			
生物環境の保全と創出	CASBEE Q3 室外環境(敷地内) 1. 生物環境の保全と創出	2.0	3
敷地内温熱環境の向上	CASBEE Q3 室外環境(敷地内) 3. 2 敷地内温熱環境の向上	3.0	
温熱環境悪化の改善	CASBEE LR3 敷地外環境 2. 2 温熱環境悪化の改善	3.0	
③ 断熱性能	CASBEE LR1 エネルギー 1. 建物外皮の熱負荷抑制	5.0	5
④ エネルギー消費性能	CASBEE LR1 エネルギー 3. 設備システムの効率化	5.0	5
⑤ 自然エネルギー利用	CASBEE LR1 エネルギー 2. 自然エネルギー利用	3.0	○
エネルギー消費の実態把握に努める	エネルギー消費量の実績を3年間報告する。	報告する 報告しない	—

その他		
先進的技術の導入	技術の名称	考慮事項
特に配慮した事項		